

## 坂本龍馬が教科書から消える？

「日本を今一度 せんたくいたし申候」などの名言でも知られる坂本龍馬は、1836 年土佐（現在の高知県高知市）に生まれ、大政奉還の成立に尽力し、明治維新に大きな影響を与えた。小説やドラマなどでも繰り返し取り上げられており、おそらく知らない人はいないと言ってもいいくらい有名な人物である。

最近のニュースに、この坂本龍馬が高校の教科書から消えるのではないかとの記事があった。これは現在、検討が進められている「高大接続改革」の一環として、大学入試や高校教育の改革が検討されている中で取り上げられた話題である。

大学入試で歴史の細かい用語が出題されるので、高校の授業が暗記中心になってしまう傾向にある。そのため、入試で問う用語を現在の約半分にすべきだとして、高校と大学の教員らで作る「高大連携歴史教育研究会」が用語の精選案を発表した。研究会によると、現在の教科書は 1950 年代と比べ約 3 倍の用語が載っており、大学入試で教科書に載っていない問題が出されると、その用語が次の改訂で教科書に掲載され、用語が増える傾向が続いてきたためと分析している。

また、大学入試では、暗記より思考力や表現力を重視する大学が増えてきており、「大学入試センター試験」の後継として 2020 年度から始まる「大学入学共通テスト」でも、こうした力を問う問題への変更が検討されている。

このため、研究会では、歴史の流れを理解するために必要な言葉を中心に精選し、「共同体」など概念の用語や、現代的課題につながる「グローバル化」といった語句を加える一方、「武田信玄」「上杉謙信」「坂本龍馬」などは、実際の歴史上の役割や意味が大きくない、などとして削る案をまとめた。

さて、なぜ、今このような大きな改革が進められようとしているのでしょうか。これまでに何度か聞いたことがあると思いますが、今から 10 年から 20 年後に、日本で働いている人の 49% の職業が、ロボットや人口知能で行うことが可能であるという衝撃的な分析が、2 年前に野村総合研究所から発表されました。

この研究は、野村総合研究所がイギリスのオックスフォード大学マイケル A ・オズボーン准教授と共同で行ったもので、日本の 601 種類の職業について、将来、ロボットなどで行うことができる可能性を計算したものです。

その結果、今から 10 年から 20 年後には、235 種類の職業が代替できる確率

が高いとされました。具体的には、スーパーの店員や一般事務員、タクシー運転手などとなっています。これらの仕事をしている人は、現在およそ 2500 万人に上り、この数字は、今、日本で働いている人の 49% に当たります。ちなみに、同様の計算をしたところ、イギリスでは 35%、アメリカでは 47% が代替可能であるとの分析になっています。

一方、医師や教師など、人とのコミュニケーションが重要な仕事や、創造性などが必要とされる仕事は、ロボットなどが代わって行うのは難しいとされています。昔は、駅の改札では、駅員さんがテンポよく鉄の音を鳴らしながら切符を切っていました。切符の点検も駅員さんが行っていました。今では、切符の購入も、改札も、すべて自動化されています。コンビニでは、セルフレジが導入されている店もあります。マスコミでは、自動車の自動運転についても盛んに取り上げられています。おそらく、車の自動運転の実現までには、あと 5 年もかからないのでしょうか。

また、アメリカのデューク大学キャシー・デビッドソン教授の分析では、「2011 年度にアメリカの小学校に入学した子どもたちの 65% は、大学卒業時に今は存在していない職業に就くだろう」とも言われています。

労働政策の専門家は「人工知能などの導入で、パターン化された仕事や体を使う仕事はどんどん機械化され、頭を使う部分しか人間には残らない。仕事の内容が高度化して、コミュニケーションの必要性が高まっている」と述べています。

このように、これまでの常識が通用しなくなる大きな変化の中で、これからの時代には、「何事にも主体的に取り組む意欲、多様性を尊重する態度、他者と協働するためのリーダーシップやチームワーク、コミュニケーション能力、豊かな感性や優しさ、思いやり」などが求められてきます。

龍馬が歴史上の大きな仕事を成し遂げられたのは、他の人と違う点をいくつか持っていたからだとも言われています。まず、立場の違う人の言うこともしっかりと聞き、良い所を吸収する柔軟な考えを持っていたこと。そして、多くの人が実現不可能だと思っていることでも成功させられる行動力を持っていたこと。新しい時代の明確なビジョンを持っていたこと。そして最も重要なのは、コミュニケーション能力に長けていた龍馬は優れた人脈を幅広く持っていたことです。さらに、龍馬は「世界に出たい」という自分の夢に向かって動いた人でもありました。このように、龍馬はこれからの社会に必要とされる力を既に兼ね備えていた人物でした。

本校全日制において行われている「インクルーシブ教育」も、まさにこれからの社会に必要な力を育てる、非常に意義ある取り組みだと思えます。



## 茅高ニュース ～茅高よ、世の荒波を分けて進め～

[全日制]

### 学校制服アイデアコンテストで優秀賞を受賞

3年6組河原光君が、「いい服の日」記念イベントの学校制服アイデアコンテストに応募し、「デザイン部門」において優秀賞に選ばれました。11月に岡山で行われた表彰式に参加した河原君は、「制服を作っている工場の見学もさせていただき、とても貴重な体験をすることができました」と語ってくれました。

### 第54回高等学校書道展で高文連会長賞を受賞

1年4組佐藤瑠姫さんが、神奈川県高等学校総合文化祭の第54回高等学校書道展において、高文連会長賞を受賞しました。佐藤さんの作品は、横70cm×縦250cmの大きな作品で、中国の古典「文皇哀冊」を臨書しました。高文連会長賞は教育長賞に次ぐ賞で、約1200点中の12位にあたります。並み居る上級生の中で、1年生でただ一人の受賞となりました。受賞した佐藤さんは、「大きな作品でやり甲斐がありました。受賞できるとは思っていませんでしたので、とても嬉しいです」と語ってくれました。また、2年5組菅野優弥君と1年4組泉このかさんが特選を、書道コンクールでは書道部が団体奨励賞を受賞しました。

### 中学1・2年生対象インクルーシブ教育実践推進校説明会を行いました

11月21日(火)、25日(土)に中学1・2年生対象のインクルーシブ教育に関する学校説明会を行いました。説明会では、神奈川県これまでのインクルーシブ教育への取り組みや、本校での今年度の実践などについて説明を行いました。参加された方からは、「生徒や先生方が進んで挨拶してくださり、とても落ち着いた雰囲気です」と思いました。「一般の生徒にとっても居心地の良い、優しい学校になるのだと思いました」などの感想をいただきました。

### 大学の授業を体験しました

12月8日(金)、11日(月)の2日間にわたり、神奈川大学から先生をお招きして大学の授業体験を行いました。8日には、「シロサケの回遊 ～生命現象を学ぶヒントから」という演題で、川で生まれたサケが海に出て成長し、また川に戻ってくる現象を題材に、大学でどのように学ぶことが大切かというお話をいただきました。また、11日には、「対照言語学 ～日本語と英語の違いを見つめる～」という演題で、ディスカッションやクイズなどを取り入れた参加型の授業をしていただきました。

参加した生徒からは、「高校ではやらないような、より深い世界まで勉強ができてよと思った」「自ら疑問に思ったことを自ら考え研究することは、とても魅力的に感じた」「自分の思っていることを言葉にして伝えるということは、とても大切なことだと思いました」「ディスカッションなど、普段では体験できない形で、とても面白かったです」などの感想が聞かれました。

[定時制]

### 秋晴れの中で文化祭を行いました

11月11日(土)、秋晴れの空の下、文化祭を行いました。今年度の文化祭は、私たち4年生にとって最後の文化祭でした。各学年、PTA、生徒会でいろいろな催しを企画し、軽音楽部は野外でライブを行いました。今回の文化祭は、茅ヶ崎高校定時制でしかできない、素晴らしい文化祭だったと思います。

私たち生徒会は、ソフトドリンクバーをやりました。高校生活最後の文化祭で、やるのがソフトドリンクバーで大丈夫なのかと思いましたが、また、お客さんが来てくれるかもわからなくて、6割くらいは不安でしたが、あとの4割は「大丈夫、来てくれる！」という期待でした。

文化祭では、思っていたよりたくさんのお客さんが来てくれました。あんなにたくさん来てくれるとは思っていませんでしたので、びっくりしました。準備が一番大変だったのは、前日の買出しです。夜で寒かったし、ジュース20を合計25本買い、学校に持って帰るのが本当に大変でした。しかし、文化祭当日はとても楽しくて、今年度の文化祭が高校4年間で一番楽しかったです。

文化祭は、これまで会ったことのない人と話をしたり、学年は一緒でも話したことのない人と話したり、元々仲が良い人ともっと仲良くなれたり、学校行事の中で一番素敵な行事だと思います。私は来年卒業してしまうので、もう文化祭に参加できないと思うとすごく寂しいです。寂しいけど、高校生活の最後に、楽しくて素敵な思い出ができてよかったです。よい思い出を、ありがとうございました。(文化祭実行委員長：4年B組 重吉未来)

### 合同学校説明会で茅定をアピール

12月2日(土)は湘南高校、3日(日)は平塚美術館で、定時制の合同学校説明会が行われました。来場者は昨年よりも大幅に増え、両日合わせて28組48名の方に定時制の学校生活などについて説明させていただきました。来場した中学生の中には、本校の在校生より茅定の話聞いて説明会に参加しましたと答えてくれる方もいました。4月には、たくさん仲間が増えてくれるといいですね。